法大・武田君を取り戻そう!

４月19日に、東京学芸大で戦争反対を訴えるビラをまいていたことをもって、「建造物侵入」容疑をでっち上げられて小金井署に不当逮捕された武田雄飛丸君（法政大学文化連盟委員長）は、28日現在も勾留され続けています。

断じて許せません！ 逮捕時に警察官が「迷い犬を探すビラなら大学にまいていいが、反戦ビラはダメだ！」と口走ったことに示されるように、これは明確な反戦運動ー学生運動つぶしです。警視庁公安部の刑事は朝から晩まで武田君を密室に閉じこめ、「運動をやめろ！」などとデタラメな「取り調べ＝転向強要」を行っていますが、武田君は怒りに燃えて、完全黙秘・非転向で闘っています。

昨日27日には、東京地裁で武田君の勾留理由開示公判が行われました。しかし、内山裕史裁判長は、「逃亡のおそれ」や「証拠隠滅のおそれ」などまったく存在しない武田君の身柄を長期拘束し続ける理由を何一つ示すことができず、強権的な法廷運営に傍聴席から抗議の声が上がるや、「退廷命令」を連発するという腐敗しきった姿をさらしました。東京地裁こそ、安倍戦争政治の手先だ！

武田君は元気に出廷！ 公判前には地裁包囲デモをうち抜きました！（上写真） 絶対に早期釈放をかちとろう！

JR国分寺駅（学芸大近く）と東京地裁前で釈放要求署名がガンガン集まっています!

全学連 全日本学生自治会総連合（斎藤郁真委員長）

【メール】mail_cn001@zengakuren.jp 【ＨＰ】http://www.zengakuren.jp/

学芸大に公安刑事が常駐！ ふざけるな!!!

東京学芸大の正門前にたむろする警視庁公安部の刑事たち――学生への監視体制をぶっ飛ばせ！

この弾圧で、小金井署と並んで極悪の役割を果たしているのが、学芸大当局です。学芸大は武田君を警察に売り渡したばかりか、学内に公安刑事を常駐させ、学生の反戦闘争を押さえつけようと躍起になっています。これの一体どこが「大学」か！ どこが「教育」か！ ふざけるな！

全学連は昨年10月（下写真左）と今年３月（同右）、それぞれ４人－６人というでっち上げ逮捕をうち破り、全員の不起訴釈放をかちとっています。団結して闘えば戦時型弾圧も粉砕できるし、戦争も止められる！ 武田君をただちに取り戻し、全国大学反戦ストライキへ闘おう！

辺野古への新基地建設許すな！ 改憲－朝鮮侵略戦争とめよう！

4・28沖縄デー闘争

４月28日（木） 12時半～ 法政大・市ヶ谷キャンパス集合

※13時半デモ出発

16時～ ＪＲ新橋駅から国会議事堂へデモ

※15時半集合